

ポ ン セ タ ウ タ ラ
(15) PON SETA UTAR

子犬たち

サケヘ：ウォ ウォ カラ カント カント
sákehe: wo wo kar kanto kanto

折り返し：ウォ ウォ カラ カント カント
折り返し8拍、歌詞だいたい1行4拍

マ チ コ
Maciko

川上まつ子((ペナコリ))

ウォ ウォ カラ カント カント
wo wo kar kanto kanto

1 ウォ ウォ カラ カント カント

1) 折り返しのwo wo ウォ
ウォは遠吠えの声を、kar
kanto kanto カラ カント カ
ントはキャンキャンという
なき声を模したものだろ
う。kanto カントは「天」を
意味する語でもある。

カント オッタ
kanto or ta
ウォ ウォ カラ カント カント
wo wo kar kanto kanto

2 天の

ウォ ウォ カラ カント カント

ホロケウ エカシ
horkew ekasi

3 オオカミおじいさまに

チコアスラニナ。
ci=koasurani na.
ウォ ウォ カラ カント カント
wo wo kar kanto kanto

4 お知らせしますよ。

ウォ ウォ カラ カント カント

4) koasurani コアスラニは
ko-asur-ani コ・アスル・ア
ニ(…に・うわさ・を持っ
ていく)=《…に危急を知ら
せる》。

チコロトット
ci=kor totto
ウォ ウォ カラ カント カント
wo wo kar kanto kanto

5 ほくたち/わたしたちのママは

ウォ ウォ カラ カント カント

5) ci=kor チコロは《私たち
の》。totto トットは《乳房、
おっぱい》だが、幼児語で
《おかあちゃん、ママ》。成
人の言葉では hápo ハポ。成
人の言葉で母を totto トッ
トと言う地域も広い。

ホロケウ ニクネヒ horkew nikne hi	6	オオカミの悪いやつが	6) nikne ニクネ(動物や神の凶暴な)は、沙流川下流のワテケさん、サダモさんは nitne ニツネと言う。 6-7) この2行で6拍。
エクワ ek wa	7	来て	
エワイサムナ。 e wa isam na. ウオ ウオ カラ カント カント wo wo kar kanto kanto	8	食べられてしまったよ。 ウオ ウオ カラ カント カント	8) 直訳すると(狼の悪いやつがママを)食べてしまったよ。
トットイサムワ totto isam wa	9	ママがいなくて	9) totto isam wa トットイサムワは、(ママがいなくなって、ママが死んで)とも訳せる。
エネ イキアシカ ene iki=as hi ka	10	ぼくたち/わたしたちは どうすることも	10-11) この2行で6拍。
イサムナ。 isam na. ウオ ウオ カラ カント カント wo wo kar kanto kanto	11	できないよ。 ウオ ウオ カラ カント カント	
カント コロ エカシ kanto kor ekasi	12	天のおじいさま	
ウンカ オピウキワ un=ka opiwki wa	13	たすけて	13) ka opiwki カオピウキは、(…を救助する)。un=ウンは1人称複数目的格(私たちを)。神謡では昔は一人の神でも1人称複数形が使われたが、ここでは何匹もの子犬である。
ウンコレヤン。 un=kore yan. ウオ ウオ カラ カント カント wo wo kar kanto kanto	14	ください。 ウオ ウオ カラ カント カント	14) ここまでは節をつけて歌っている。この後は語りになる。
ボン セタ ウタ pon seta utar	15	子犬たちが	15) pon seta ボンセタ(子犬)は、昔の話者は poyseta ポイセタと発音したが、この歌い手は pon ボンの n を発音している。
ヘリカシノ herikasino	16	上の方を	16-17) (直訳すると)《上の方へ、上の方へい》=《上の方を、上の

ヘリカシノオカワ、
herikasino oka wa,

17 上の方を見上げて

ウヌフ イサムワ
unuhu isam wa

18 母親がいなくて

ヤイウェンヌカ^カクス
yaywennukar kusu

19 困ってしまったので

方を向いて}。

19) yay-wen-nukar ヤイ・ウェン・ヌカラ《自分(を)・悪く・見る》は、《暮らしに困る、苦勞する、難儀する》。

カント コロ エカシ
kanto kor ekasi

20 天のおじいさまに

コアスラニ ハウエ ネ ナ。
koasurani hawe ne na.

21 訴えているのですよ。

21) koasurani コアスラニは4行目と同じ語で《...に危急を知らせる》。

犬は一般に神とは見なされない。この神謡でも **kamuy** カムイとは言っていない。しかし危急を訴えて助けを求めている相手の狼は神である。そしてこの神謡は、折り返しに始まり、その折り返しがところどころに入り、終結部が折り返しのない語りになる、という神謡の形式を踏んでいる。このようなものも「神謡」(**kamuyyukar** カムイユカラ/**menokoyukar** メノコユカラ)と呼ばれる。

この「子犬たち」の神謡は、おそらくこれまで収録された神謡の中で最も短いものであろう。